

夏合宿

第3期 OB 横山 嵩

昨年、小野ゼミの夏合宿を同期と訪問しました。残念ながら日程の関係で、夏合宿恒例のケースには参加することも、発表を聞くこともできなかったのですが、単に夜飲みに行き、翌日遊んで帰っただけ、という何ともバリューの低いOBの訪問になってしまいましたが、そこはどうかお許しください。

土曜の午後に宿に着いた後、来たからにはさすがに何かやらなければならん！ということで、OBそれぞれが今の仕事の紹介やゼミ生に向けてのちょっとしたスピーチをさせてもらいました。しかしその日は午前中にケースの発表が終わった後で、特に3年生は徹夜明けで見るからにぐったりしており、ややかわいそうなことをしたなと思いつつ話をさせてもらいました。

その後、BBQの夕食となり、現役生と一緒に鉄板を囲み、夜の飲み会でも楽しく飲ませてもらいました。最初はちょっとみんなおとなしい感じなのかな？と思っていましたが、飲み会では向かいの人の話が聞き取れないくらい場が盛り上がり、夜も更けてくるにつれ、コテージの外で行き倒れた奴とかも出てきて、そんな風景を見ながら無責任にも逆にどこか安心しました。

翌日は合宿恒例のレクリエーションに参加をさせてもらいました。このレクリエーション、いつもメニューがハードな構成になっており、ここにきて彼らと7歳も年が離れていることを実感した次第ですが、少なくともさすがに先生よりは頑張らなくてはならんと己を叱咤激励し、なんとか最後まで参加させてもらいました。

合宿中、ついつい自分が現役だったころと色々比べてしまっていたのですが、現役生の印象としては、女性陣がパワーアップしているなあ、という印象が強かったですかね（まあ、その方が色々上手くいくのかもしれませんが）。あと、合宿だったからなのかもしれませんが、ゼミ全体の雰囲気以前より何かこう「ふわっと」している感じを受けましたが、小野ゼミ生であればしっかりメリハリをつけられると思いますので、あまり心配する必要もないかなと思いました。また、活動の内容などの話を聞いている中で、自分達の頃に比べ現役生の活動の幅が広がり、内容レベルも随分上がっているように感じました。これも先生が教授にご就任され一層そのご活躍の幅を広げられている中で、現役生もその影響を受けてのことなのかなと勝手に想像し、嬉しく、また少し羨ましくも感じた夏合宿でした。

そんな夏合宿に参加した昨年ではありましたが、自分としては色々あった一年でもありました。一番大きかったのは5月に異動になったことでしょうか。これまで、入社以来5年以上携わってきたクレジットカード事業やPASMO関連事業の担当から、全く事業領域の違う関連子会社を管理する担当になりました。同じ会社にながら、転職したような感じです。やることは経営コンサルタントの様な仕事で、担当する会社の経営上の課題を抽出し、仮説立案、検証、施策立案、実行と進めていく流れは、ちょっとだけ昔のゼミ活動に似ているのかもしれませんが。今までは、事業の担当として、事業企画、立ち上げ、営業までを全て一貫してやってきましたが、経営視点と言えばあくまでプロジェクト収支以上のものは考える必要は

なく、あまりにも違う状況に当初は大いに戸惑い、またモチベーションが下がりかけた時期もありました（実は先の夏合宿に訪問したあたりは一番凹んでいた時期でもあったのですが、ゼミの空気に触れ、元気づけられた部分もあったのかもしれません）。しかし今では会社経営という視点で色々な事象を考えるという事に新鮮味を感じながら仕事をしています。特に、今までは全く興味が無かった経営陣の立場にある人たちの考え方に触れる事ができたのは色々な意味で新しい視点を持たせてくれたような気がしています。まあ、最近になってようやく慣れてきたのでこんなことも言えますが、異動したての時にはこれまでの経験があまりにも役に立たず、徐々に新入社員に戻ったようでした。ゼミ OB の皆様方も転職や異動などで仕事が大きく変わった人も少なくないと思いますが、多かれ少なかれ、こんな感じなのかなと思う今日の頃です。

せっかくなので仕事以外のことも少し書いておきますが、昨年も社会人アメリカンフットボールチームで選手をやっておりました。最近は、「体が大きいから」ではなく、「体が大きい理由を作るため」アメフトをやっている感が強まりつつありますが、お陰さまで大きな怪我もなく、X2 リーグ 12 チーム中 3 位という順位で無事にシーズンを終えることができました。また、ジャズも相変わらず続けておまして、昨年はおの「つるの屋」でライブを開催してみたり、日吉キャンパスの藤原洋記念ホールでのコンサートを開催しておりました。



X2 リーグの試合にて（著者は 75 番）

長くなりましたが、今年も皆様方にとって良い年となりますように、また、OB・OG の皆様方においては、今年も小野ゼミがさらなる発展を遂げるよう、皆で応援していきましょう！



2010 年度夏合宿にて（著者は最後列中央右寄り）